

三鷹市美術ギャラリー 収蔵作品展 III

後期：2022年7月16日(土)～8月21日(日)

会場：三鷹市美術ギャラリー

主催：三鷹市美術ギャラリー・(公財)三鷹市スポーツと文化財団

出品リスト

作品番号	作家名	作品名	イメージ寸法 (縦×横)	制作年	技法/材質	備考
115	桜井浜江	人物	803×652mm	1948年	油彩/カンヴァス	
116	桜井浜江	人物	890×715mm	1952年	油彩/カンヴァス	
117	桜井浜江	樹	455×530mm	1983年	油彩/カンヴァス	
118	桜井浜江	風景	1620×1303mm	1985年	油彩/カンヴァス	
119	桜井浜江	淵	1818×2273mm	1986年	油彩/カンヴァス	
120	桜井浜江	風景	1621×1303mm	1986年	油彩/カンヴァス	
121	桜井浜江	流れ (2)	1818×2273mm	1989年	油彩/カンヴァス	《水》改作
122	桜井浜江	海岸	1621×1303mm	1989年	油彩/カンヴァス	
123	桜井浜江	富士	455×530mm	1990年	油彩/カンヴァス	
124	桜井浜江	波	530×455mm	1991年	油彩/カンヴァス	
125	桜井浜江	海	1939×2591mm	1991年	油彩/カンヴァス	
126	桜井浜江	波	1621×1303mm	1993年	油彩/カンヴァス	
127	桜井浜江	海	1939×2591mm	1993年	油彩/カンヴァス	
128	桜井浜江	花無惨	1939×2591mm	1994年	油彩/カンヴァス	
129	桜井浜江	黒い波	909×722mm	1995年	油彩/カンヴァス	
133	桜井寛	二つの牛	1303×1621mm	1962年	油彩/カンヴァス	
134	桜井寛	背広のある静物	1303×1621mm	1971年	油彩/カンヴァス	
135	桜井寛	人物	1939×1303mm	1979年	油彩/カンヴァス	
136	桜井寛	立てる自画像	1455×970mm	1985年	油彩/カンヴァス	
137	桜井寛	シュミーズの女	1621×1121mm	1987年	油彩/カンヴァス	
138	桜井寛	横たわる裸婦	1818×2273mm	1997年	油彩/カンヴァス	
139	桜井寛	二つのベッド・人体	1818×2273mm	2000年	油彩/カンヴァス	
140	桜井寛	椅子による若い男	1818×2273mm	2001年	油彩/カンヴァス	
141	桜井寛	静物・二つのフライパン	909×1167mm	2001年	油彩/カンヴァス	
142	桜井寛	椅子による男	1818×2273mm	2004年	油彩/カンヴァス	

※No.130,131,132は欠番 ※No.1-114,143-168は前期(会期終了)展示

作家解説

桜井浜江 SAKURAI Hamae

1908(明治41)-2007(平成19)年 本名：桜井ハマエ

山形県山形市宮町に生まれる。1925年山形県立山形高等女学校卒業後補習科(現・山形県立山形西高等学校)を修了し、1926年上京。川端画学校洋画部や岡田三郎助の私塾に通い画家を志す。1928年から1930年協会洋画研究所で学び、里見勝蔵らに師事する。1931年「第1回独立展」に入選し、その後も同展への出品を続ける。1939年三鷹市下連雀へ転居(戦中は山形へ疎開するが、戦後再び三鷹に居住)。1947年雑賀文子、三岸節子らと女流画家協会を創立する。また同年に「第2回新興日本美術展」読売賞受賞。翌年、「第16回独立展」独立賞受賞。1954年独立美術協会会員となる。2007年、死去。享年98歳。

桜井寛 SAKURAI Hiroshi

1931(昭和6)年-

長野県南佐久郡白田町(現・長野県佐久市)に生まれる。郷里には東京から疎開してきた画家が多く居住していた。その存在に多大な刺激を受け、中学生時代から画家を志すようになる。1951年東京教育大学(現・筑波大学)教育学部芸術学科へ入学。1958年三鷹市に転居。在学中の1951年「第19回独立展」にて初入選。同展に継続的に出品を続け、1963年「第31回独立展」及び1966年「第34回独立展」にて独立賞受賞。50年代後半は、赤、黄、茶を基調としモチーフに牛を用いた作品を多く描き、60年代半ばからは青や黒をベースとした静物画を制作する。1975年からの渡欧経験を経て、人物と身近な日用品を登場させた作品や廃墟となった村の風景などを描くようになる。1979年には奥谷博、中間冊夫など11名と十果会を結成。1987年から1年間渡米。現在に至るまで精力的な活動を続けている。1992-2001年武蔵野美術大学教授を務める。独立美術協会会員。